

第 1 1 回白山火山防災協議会（議事要旨）

1 日 時

令和 4 年 3 月 2 9 日（火） 1 4 時 0 0 分～ 1 5 時 0 0 分

2 場 所

石川県地場産業振興センター本館 大ホール ※web 併用

3 報告事項

(1)令和 3 年度白山火山防災協議会活動報告について

4 協議事項

(1)白山火山防災協議会規約の改正について

(2)白山の噴火シナリオの見直しについて

(3)白山火山防災計画、白山の火山活動が活発化した場合の避難計画の見直しについて

(4)令和 4 年度白山火山防災協議会事業計画（案）について

5 その他

(1)白山の火山活動の状況について

6 議事要旨

(1) 議事概要

会長（山田白山市長）の挨拶に続き、会長の議事進行で議事に入った。

報告事項(1)を事務局から説明を行った。その後、協議事項(1)、協議事項(2)(3)、協議事項(4)を事務局などからそれぞれ説明するとともに、協議事項(2)(3)について、金沢大学酒寄教授から補足説明があり、質疑応答の後、すべて承認された。

引き続き、「白山の火山活動の状況について」を金沢地方気象台から説明するとともに、金沢大学平松教授から補足説明を行った。最後に、副会長（成原白川村長）の挨拶で閉会となった。

(2) 質疑応答の要旨

①質疑（白山市地域振興公社理事長）

登山者にヘルメットなどの装備品の携行を呼びかける必要があると思うが、どのように取り組んでいくのか。

①回答（事務局）

白山は活火山であり、突発的な噴火に加え、落石や転倒から頭部を守るために、ヘルメットを携行することが推奨されている。

これまで、白山が活火山であることや、ヘルメットを持参することを記載した火山防災マップやリーフレットを配布するとともに、室堂、南竜山荘に予備のヘルメットを配置してきた。

登山用のヘルメットについては、装着や携行する登山者は少数であるが、軽量で強度のある素材のものや、折りたたみできるコンパクトなものもあり、今後は、こうしたことも併せて周知していきたい。

②質疑（白峰区長）

ヘルメットなどの装備品の持参を呼びかけるとともに、ヘルメットを忘れてくる登山者への対応も検討する必要があるのではないかと。

②回答（事務局）

ヘルメットを忘れた登山者への対応も含め、より良い方法がないか研究してまいりたい。